

地方独立行政法人天王寺動物園
令和6事業年度の業務実績に関する評価結果

令和7年9月

大 阪 市

1 地方独立行政法人天王寺動物園の評価の考え方

市長は、地方独立行政法人天王寺動物園について、「地方独立行政法人天王寺動物園にかかる業務実績評価実施要領」に基づき、次のとおり令和6事業年度の業務の実績に関する評価を行った。

【評価の基本方針】

- 評価の目的は、年度計画、中期計画の進捗状況等を中期目標の達成状況や具体的な事例等により評価し、組織・業務等に関する改善すべき点等を明らかにすることにより、法人運営の質的向上及び中期目標に掲げる大都市大阪にふさわしい「国際社会に貢献し、世界に誇れる動物園」の実現に資することとする。
- 市民への説明責任の観点から、中期目標の達成に向けた法人の取組状況等を分かりやすく示すこととする。
- 評価の方法については、法人を取り巻く環境変化等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。

【評価の方法】

事業年度評価は、「小項目評価」「大項目評価」及び「全体評価」により行う。

「小項目評価」では、当該年度の年度計画に掲げる事項ごとに、法人による自己評価の結果をもとに、年度計画の進捗状況や業務実績に関する事実確認をするとともに、法人の自己評価の妥当性の検証と評価を行う。

また「大項目評価」では、当該期間の中期目標に掲げる事項ごとに、小項目評価での結果等を踏まえ、中期計画の進捗状況等も考慮し、評価を行う。

さらに「全体評価」では、項目別評価の結果等を踏まえ、当該事業年度における中期目標の達成に向けた進捗状況について、記述式による総合的な評価を行う。

（評価の具体的方法）

(1) 「小項目」につき、その達成度を5段階で評価を行う。

- ① 法人が、各事業年度の終了後3ヶ月以内に、当該事業年度における業務実績についての自己評価結果を、所管する建設局に提出する。

自己評価の区分は次のとおりとする。

- V・・・計画を大幅に上回って実施している
- IV・・・計画を上回って実施している
- III・・・計画を順調に実施している
- II・・・計画を十分に実施できていない
- I・・・計画を実施できていない

- ② 建設局が、法人による自己評価に対する小項目の市長評価（案）を作成する。
建設局において、資料確認やヒアリング等を通じて、法人の自己評価、目標設定の妥当性及び目標への取組等を総合的に検証し、年度計画の進捗状況について、5段階

で評価を行う。

評価の区分は、法人の自己評価の区分と同様とする。

- ③ 評価委員会を開催し、小項目の市長評価（案）に関して、評価委員会が意見を申述する。その意見を踏まえた評価を最終的な評価とする。

(2) 小項目評価に基づき、「大項目」への達成度を5段階で評価を行う。

- ① 建設局において、小項目の評価結果や中期計画の全体的な進捗状況を踏まえ、大項目の市長評価（案）を作成する。

評価の区分は次のとおりとする。

- S・・・特筆すべき進捗状況
- A・・・計画どおり
- B・・・おおむね計画どおり
- C・・・やや遅れている
- D・・・重大な改善事項あり

小項目について、おおむね「Ⅲ」の評価であれば、大項目は「B」の評価を基本とする。

大項目について、「B」以外の評価を行う場合は、小項目評価でⅣ以上の高評価やⅡ以下の低評価となっている項目について、単に項目数ではなく、項目ごとの内容の中期目標での重要性等を考慮し、総合的に判断の上、その理由を示す。

- ② 評価委員会を開催し、大項目の市長評価（案）に関して、評価委員会が意見を申述する。その意見を踏まえた評価を最終的な評価とする。

(3) 項目別評価を踏まえた総合的な評価を「全体評価」として、記述式で行う。なお、評価項目にはない事項でも中期目標の達成に資するものは、ここで評価を行う。

- ① 建設局において、各項目の評価結果や中期目標の達成に向けた進捗状況を踏まえ、記述式で市長評価（案）を作成する。
- ② 評価委員会を開催し、市長評価（案）に関して、評価委員会が意見を申述する。その意見を踏まえた評価を最終的な評価とする。なお、次期事業年度に向けた改善等の意見があれば、併せて記載する。

●全体評価

以下のとおり大・小各項目別の評価結果を踏まえ、大阪市地方独立行政法人天王寺動物園評価委員会における評価委員の意見を参考に、令和6事業年度における地方独立行政法人天王寺動物園の業務実績に関する全体評価を定めた。

全体として計画どおりに進捗している。

令和6年度の主な成果として、動物園コミュニティ活動へ積極的に参加したことにより、他の施設からの信頼を向上させた点が高く評価できる。具体的には、のとじま水族館や葛西臨海水族園から動物を一時的に預かり、健康を保ったまま返還したことや、研究会において逸走事案に関する発表を行い業界全体の安全性向上に貢献したことが挙げられる。また、研究会で得た知識を園内で共有・実践することで飼育技術の向上と環境改善を図る体制が整いつつあり、さらに、他の施設から参加者を募った環境エンリッチメントに関するワークショップ開催や、安楽殺ガイドラインの提供を通じて、業界内における天王寺動物園の存在感を高め、生物多様性保全に貢献できた。

独法化後の動物福祉向上や繁殖に関する取組が評価され、7月には「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（種の保存法）に基づく「認定希少種保全動物園」に認定された。これにより動物導入手続きが簡略化され、孵化までの時間を考慮すると移動可能な日数が限られるニホンイヌワシの有精卵をスムーズに譲り受けることができた。また、グラントシマウマなど複数の動物も導入しており、これらの法人の運営により、動物園の魅力が向上している。

その他、収入確保に関しては、営業活動による寄附増加や遺贈寄附にかかる金融機関との協定締結が着実に進展している点を評価する。一方で、コンプライアンスに関しては、令和6年度には複数の不適正事案が発生したことを受け、リスク管理と再発防止策についての継続的な取組を求める。

令和7年度は第一期中期目標期間の最終年度にあたる。過去の取組を振り返り中期目標の達成に努めるとともに、第二期以降を見据え、法人とそれを取り巻くステークホルダー全体においてビジョンの共有を行い、目標達成に向けて全力で進むことを期待する。

●項目別評価

大項目		小項目	
S	0項目	V	0項目
A	3項目	IV	7項目
B	12項目	III	43項目
C	0項目	II	3項目
D	0項目	I	0項目
合計	15項目	合計	53項目

大項目別に、評価の概要を次ページ以降に示す。

なお、詳細については、別添の評価シートを参照のこと。

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1-1 動物展示の充実と快適な園内環境の創出による天王寺動物園の魅力向上

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ JAZA（日本動物園水族館協会）等動物園コミュニティの活動への継続的な参加に加え、他園館から個体を預かり、健康状態を良好に保ったうえで返還したことで、園の信頼向上につなげた。 ➤ 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（種の保存法）の規定による「認定希少種保全動物園」に認定されたことは、動物導入にかかる手続を簡略化することができ、ニホンイヌワシの有精卵の迅速な譲渡に寄与した。 ➤ 令和7年1月1日に開園110周年を迎え、各種イベント、広報活動について積極的に取り組んだ。 ➤ 複数の動物を導入し展示の充実を図ったほか、園の魅力発信、サービスの充実を通じて園の魅力向上につながった。 ➤ 上記より、計画どおりであることからA評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
12	0	3	9	0	0

1-2 動物の生態等に関する理解や関心を深めるための教育活動の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 教育普及アクションプランに基づくディスカバークプログラムについては、令和5年度に比べて実施件数が増加しており、アンケートからも利用者の行動変容がうかがえる結果となっており、教育活動の推進に貢献した。 ➤ ボランティアクラブの会員数も目標数に達しており、活動機会の増加も含め法人の努力が現れている。 ➤ 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

1-3 動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術の確立

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 環境エンリッチメント、ハズバンドアリーナトレーニングについては取り組み種100%を達成しただけでなく、対象種を拡大しつつ質の維持・向上に取り組んでいる。 ➤ 他園館より参加者を募ってエンリッチメントワークショップを開催し、新たな知見の獲得に努めた。 ➤ これらの活動は、動物たちが健康で幸せに暮らせる環境を創出するだけでなく、動物福祉に配慮した高度な飼育技術の確立に貢献するものである。 ➤ 獣舎整備については、工事途中で地中障害物等の当初予想できなかった事由が発生したことにより年度当初に予定していた進捗率に達しなかったものの、法人の責に帰すべき原因ではなかった。 ➤ 上記より、計画どおり進んでいることからA評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
5	0	1	3	1	0

1-4 繁殖及び調査研究活動の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 繁殖技術の向上に継続的に取り組んだほか、令和6年度はオオサンショウウオの保全に向けて、年間を通じて府内の域内保全活動に参加するとともに、普及啓発の講演を開催し、種の保存に寄与した。 ➤ 調査研究については、引き続き飼育各班に研究テーマを割り当て、研究を実施したほか、安楽殺ガイドラインを策定し他園館から提供を求められたほか、逸走事案の発表により業界全体の安全性向上に貢献するなど園の信頼向上にもつながった。 ➤ 上記より、計画どおり進んでいることからA評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
5	0	1	4	0	0

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

2-1 自律的な組織経営

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 機動的な組織体制の構築に向けた取組を行っており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2	0	0

2-2 人材の確保・育成と職員の能力向上・意欲喚起

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 研修等を実施し、継続して人材育成に取り組んでいる。 インセンティブが適正に働く人事評価制度を構築し、運用を開始した。今後、職員の能力向上と意欲喚起につながることを期待したい。 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

2-3 効果的・効率的な業務執行

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 適宜、市と情報共有を図りながら進捗管理を行ったほか、各種システムについても安定して運用しており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2	0	0

3 財務内容の改善に関する事項

3-1 収入の確保

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 入園料収入は目標値に届かなかった一方で、入園料外収入については営業活動によって法人ファンクラブの更新や新規寄附等につながっただけでなく、金融機関と遺贈寄附にかかる協定を締結した。収入の確保に向けて着実に取り組んでいる。 ➤ 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
5	0	2	1	2	0

3-2 経費の節減

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ごみの排出量や光熱水費の削減に継続的に努めており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2	0	0

4 その他業務運営に関する重要事項

4-1 内部統制の強化

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 継続して内部統制にかかる取組を実施しているほか、不適正事案の発生に際しても適宜対応し、再発防止策を講じている。 ➤ おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
7	0	0	7	0	0

4-2 来園者の安全確保

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 来園者の安全確保に向けて、継続して取り組んでおり、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

4-3 職員の安全衛生管理

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。 				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0

4-4 環境に配慮した取組の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	▶ 環境に配慮した取組を継続して実施しており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0

4-5 情報公開の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	▶ 法人が公開する財務諸表や年報について、内容の充実を図るよう検討した。 ▶ おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0

4-6 BCPの策定

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	▶ 現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0